

# 小田川っ子



平成27年度  
白河市立小田川小学校  
平成28年1月22日(金)  
第37号(84号)  
発行者 校長 小檜山 健

## 「大きな夢」に向かって…今、できることを！

18日、全校集会を行いました。一人一人が、自分の「将来の夢」を書いたカードを持って、2階ホールに集合しました。今回は、始業式での話をもとに、「大きな夢」について語り合う時間としました。

まず、校長が、5年生の「将来の夢」の作文を読みました。続いて、5年生の将来の夢、「海でのマグロ漁師」「警察官」「マンガ家」「シェフ」「FCバルセロナ」「博物館の復元模型をつくる人」「動物園の飼育員」などを紹介しました。



### 「将来の夢」

5年

私は去年まで家族や周りの人に、「将来、何になりたいの」と聞かれても、自分が本当に何になりたいのかも分からずにいました。私は、夢について考えたり悩んだりしたけど、自信をもって答えることができずにいたので、夢の話になるといやで、その場から逃げたり、あいまいな返答でごまかしたりしていました。そんな私でしたが、今なら自信をもって答えることができます。

それは、ヘアメイクさんになることです。

私がヘアメイクさんになりたいと思ったのは、妹の七五三で写真を撮りに行ったお店のお姉さんと出会ってからです。私や妹たちをかわいくメイクしてくれたり、きれいに髪の毛をセットしてくれたりしました。鏡を見て、いつもの自分とは全くちがう自分に変身してびっくりしたし、新しい自分が発見できてドキドキしてうれしかったので、私と同じように、いろんな人にちがう自分を発見してほしいと思ったのがきっかけです。

それから、私は、お母さんや妹に協力してもらい、本を見ながらかんたんな髪型に挑戦しました。しかし、お手本みたいに上手にできませんでした。くやしかったので、絶対に専門学校に通って、どんな髪型でもきれいにできるようにになりたいと思いました。そのためには、専門学校に行けるように、今、自分ができることを一生懸命がんばりたいと思います。

私がヘアメイクさんになったら、一番にお母さんをきれいに变身させたいです。

毎日つづける  
今、できることを  
ゆめめ  
全力  
ぜんりよく

その後、たてわり班ごとに集まって、一人一人が自分の「大きな夢」を発表しました。そして、その夢の実現に向かって、「今、できることは何か」を、班のみんなで語り合いました。

最後に、校長の小学生の頃からの「夢」を紹介しました。まず、はじめの夢として記憶に残っているのは「消防士」です。小学校のアルバムには、「電気関係の仕事」と書かれてありました。プラモデルを作るのが好きだったからだと思います。中学校では、社会科の素敵な先生と出会ったことがきっかけで「教師」への思いをもちます。地図が大好きだったので「国土地理院で、地図をつくる仕事をしたい」と、高校時代は考えていました。大学では、中学と高校の社会科の教員免許を取得しました。しかし、中学校社会科の教員採用数が非常に少ないので、大学を卒業後に、アルバイトをしながら小学校の免許を通信教育で取得して、小学校教員になりました。

「夢」って…、いろんな世界を観て、学んで…、いろんな人と出会い、ふれ合い…、いろんな仕事にあこがれをもちながら…、移り変わっていくものです。たくさん世界に出会えば出会うほど、選択肢も増えていきます。そして、少しずつ自分の進みたい「道」が見えてくるのではないのでしょうか。小さいころから、いろんなものを観て、いろんなことを体験することが大切だと考えています。

